



Agribusiness Creation Fair 2012

アグリビジネス創出フェア

11.14(Wed.)-16(Fri.) 10:00-17:00 東京ビッグサイト東6ホール

出展のご案内



開催趣旨

アグリビジネス創出フェア2012は、全国の産学官の各機関が有する、農・林・水産・食品分野などの最新技術や研究成果を分かりやすく展示し、研究機関間、研究機関と事業者との新たな連携を促す場として開催する「技術・交流展示会」です。

●主催：農林水産省

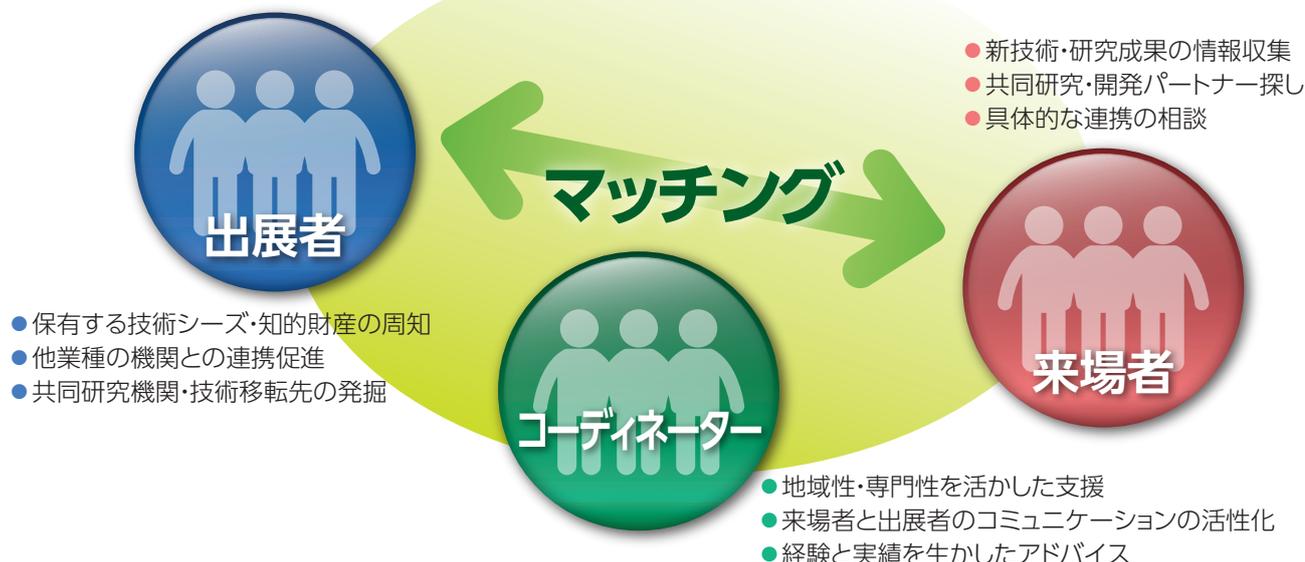
●後援(予定)：内閣府／文部科学省／経済産業省／特許庁／(独)農林・食品産業技術総合研究機構／(独)農業生物資源研究所／(独)農業環境技術研究所／(独)国際農林水産業研究センター／(独)森林総合研究所／(独)水産総合研究センター／(独)家畜改良センター／(独)水産大学校／(独)種苗管理センター／(独)科学技術振興機構／(独)中小企業基盤整備機構／(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構／(社)農林水産・食品産業技術振興協会／(社)日本経済団体連合会／(財)食品産業センター／日本弁理士会／株式会社日本政策金融公庫／全国農学系学部長会議／日本農学会／特定非営利活動法人 産学連携学会／日経バイオテック／日本食糧新聞社／日本農業新聞／フジサンケイビジネスアイ／全国農業新聞／日刊工業新聞社

<http://agribiz-fair.jp/>

同時開催 アグロ・イノベーション 2012
主催：社団法人 日本農事協会

農林水産省

アグリビジネス創出フェアでは、 各出展者の連携促進に向けた取組みを、 様々な形でサポートします。



連携促進に最適な3つの理由

ポイント
1

多種多様な
参加者が集う!

- **農林水産・食品分野の技術関係の展示会では最大級の展示会**
平成23年度はのべ約2万6千人が参加しました。
- **アグロイノベーションをはじめ、様々な展示会が同時開催**
- **研究者、事業者、農林漁業者など様々な方が来場**

ポイント
2

マッチング施策
の充実!!

- **コーディネーターによるマッチング支援**
事前段階から会期中、事後まで、知見と経験を生かしたコーディネーションを行います。
- **公式ホームページによる、マッチング情報の発信**
事前にマッチングの参考となる情報を発信することにより、会期中のスムーズなマッチングが可能となります。
- **マッチングサポートツアー**
コーディネーターがツアーコンダクターとなり、来場者とともに出展ブースを訪問。
技術シーズの解説を行います。
- **出展者プレゼンテーション**
出展者専用のプレゼンテーションスペースを会場内に設け、より多くの方々へ情報訴求する場をご提供します。
- **100件を超えるメディアへの露出(平成23年度実績)**

ポイント
3

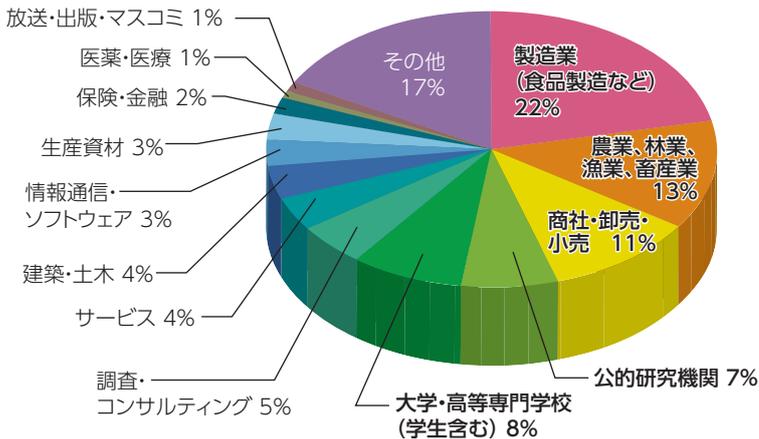
多彩な
イベント!!

- **基調講演・セミナー**
農林水産・食品・技術開発等のホットな話題を提供します。
- **マッチング交流会**
出展者のみなさまとの相互交流の場を設けます。アグロイノベーションとの合同交流会を企画中です。
- **出展者向けの内覧タイムを企画中**

全国179機関が出展！ 来場者数は約2万6千人！

来場者内訳

研究者のみならず、
生産者、事業者、学生など
様々な関係者が来場



来場目的

多様な目的をもった
来場者に研究成果等を
PRする機会

主な回答	%
新技術・研究成果の情報収集	26.40%
興味のある出展者のブースを訪れる	15.90%
共同研究・開発パートナーを見つける	11.20%
事業提携先・取引先を見つける	9.70%
抱えている課題を解決できそうな技術シーズを見つける	9.10%
震災復興企画展示に興味がある	3.40%
手持ちの技術シーズの売り込み	2.10%
コーディネーターに相談をする	0.80%

連携実現への期待！

2011年度フェア出展者の満足度

フェアへの出展は有益なものでしたか？

非常に有益だった **77%**

マッチングのための活動ができたか？

実行できた **85%**

フェア終了後のマッチング状況

フェアをきっかけとした

マッチング
相談件数 **1,488件!**

1出展者あたり

8件以上!

出展者の声

- 普段交流のない多分野、他業種などの関係者と交流がもて、有意義な意見交換ができました。
- マッチングにつながる企業や団体と知り合え、問い合わせも頂きました。
- メディアに取り上げていただき、予想以上の訴求効果が見込めました。
- ブース来訪者の質が高く、マッチングに対して真剣に取り組もうとされる熱意を感じました。
- フェアでいただいたアドバイスや提案を基に新たなマッチングの創造と提案を行い農業の発展に貢献したいと感じました。
- 当協議会の取り組みを首都圏にてPRする貴重な機会をいただきました。
- 農学分野における研究成果PRのイベントとして最重要。また、マッチング率も他のイベントよりかなり高いため、大変期待しています。
- 研究内容や取扱分野のニーズや動向を知り、情報収集をすることができました。

※出展者アンケートより

アグリビジネス創出フェア2012を 意欲的にご活用ください!

出展者募集

単なる研究成果の広報にとどまらず、農林水産・食品分野の最新のシーズに関わるマッチング促進を目的とし、以下のような多様な取り組みを行う出展者を募集します。

パネル展示

実演

プレゼンテーション

その他

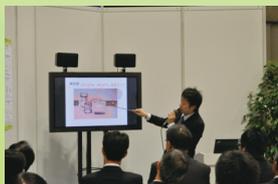
実物展示

試飲・試食

Web

研究・技術プレゼンテーション

最新のシーズについて、展示だけでは説明しきれない内容をプレゼンテーションすることができます。更にマッチングを促進するための機会としてご活用ください。



Webでの情報発信

出展決定以降、複数の出展者の皆様が、フェアに向けて取り組まれている出展準備の様態を、Web(公式ホームページ)を通じて発信したいと思います。出展内容の打合せを実施、展示内容に関するプレス発表を実施など、マッチングに向けた取り組みを発信頂ける機関を募集します。



連携企画

各出展機関が会場内外で実施する連携促進企画
(例:フェア 初日(11/14)に会場内で実施する簡易実験
フェア最終日(11/16)に開催する農場見学会
フェア 翌日(11/17)に開催する農業関連シンポジウム等)

がございましたら、その情報をお寄せください。情報ごとに整理し、出展者・来場者に情報発信したいと思います。
(企画内容は、アグリビジネス創出フェアの開催趣旨にマッチする取り組みに限らせていただきます)。



アグリビジネス創出フェア2012は、研究開発に関する産学官の連携促進を目的とした技術交流展示会です。産学官の連携促進を希望する多数の機関の御出展をお待ちしております。

1

農林水産・食品分野の研究成果を実用化・産業化することを切望し、最新で質の高い技術シーズや研究成果を有する大学、地方公共団体、独立行政法人等の研究機関、技術研究組合及び研究会等の非営利団体

2

農林水産・食品分野において、広く研究開発における産学官の連携促進や研究成果の普及・実用化・技術移転等を支援する機関や、このような活動を支援・推進する各種団体等

【注：民間企業による出展について】

アグリビジネス創出フェア2012は、現時点では研究成果の事業化に向けた取り組みの途上であり、有料の展示会への参加が困難な公的研究機関、大学等にも、有望な技術シーズを広く関係者に紹介する機会を設けるため、農林水産省が主催し、出展に係る経費を極力抑えた展示会として例年開催しております。このため、既に営利活動として事業化されている研究成果等については、隣接会場で開催される「アグロ・イノベーション」への出展をお願いしております。民間企業による出展は以下の事例に限り受け付けます。

(1) 共同出展

- ①大学、都道府県、独立行政法人等の研究機関と連携して実施する研究の成果を、研究機関と共同で出展する場合。
これらの場合は、大学、都道府県、独立行政法人等の研究機関が展示の主体となることとし、民間企業の展示内容は連携して実施する研究に関連する技術シーズや研究成果に限ることとします。
- ②技術研究組合や研究会等に参画している民間企業が、自社の有する農林水産・食品産業分野における技術シーズや研究成果をこれらの団体が主体となる展示の一部または要素を構成する展示として、付随的に出展する場合。
この場合、各々の技術研究組合や研究会等が展示の主体となるとともに、すでに実用化されている製品や事業化されている商品の普及を目的とした展示は認められません。なお、製品および商品を当日展示した場合は、事務局が撤去する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

(2) 条件付での単独出展

- ①アグロ・イノベーション2012の対象外である、畜産業・林業・水産業や農林水産物を利用した医療・医薬、食品の機能性等に関する技術シーズや研究成果を展示する場合。
- ②基礎的な技術シーズや研究成果を出展する場合。(試作品の展示は可)
なお、この場合、製品および商品を当日展示した場合は、事務局が撤去する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

(3) ベンチャー企業による出展

大学、都道府県、独立行政法人等の研究機関発のベンチャー企業が自社の有する技術シーズや研究成果を出展する場合。

出展の可否につきましては展示内容等に基づき判断させていただきますので、特に民間企業の方は事前にフェア事務局までご相談ください。

出展者の皆様に行っていただきたいこと

本フェアの主旨を正しく理解し、マッチングに対し、積極的に取り組んでいただきます。

出展検討段階

7月23日(月) 出展募集開始

8月27日(月) 出展募集締切

9月上旬
(予定) 出展者選定・決定

出展準備段階

9月下旬
(予定) 出展者説明会
(小間割発表)

10月初旬
(予定) プレゼンテーション
日時決定

イベント会期中

11月14日(水)～16日(金)
開催

イベント終了後

12月上旬
第1回マッチングレポート提出

2月上旬
第2回マッチングレポート提出

出展申込書等の記入

出展申込書及びマッチング調査書に、フェアに出展する技術シーズの内容や、フェアを通じて希望する連携内容など、詳しくご記入ください。事務局では、ご記入いただいた内容に基づき、農林水産省と調整の上、出展者を決定させていただきます。**内容が妥当でない場合や、十分な情報がいただけない場合には、出展をお断りする場合がありますので、ご了承ください。**また、フェア2011に出展いただきました機関におかれましては、マッチングレポートの提出状況も踏まえ、出展の可否を検討させていただきますので、ご了承ください。

〈申込方法〉公式ホームページ(<http://agribiz-fair.jp/>)より8月27日(月)までに申し込みください。申し込み情報の送信後、自動配信のメールが届き、申し込み完了となります。

出展者PR情報の入力・活用

出展が決定した機関には、ホームページを通じて、「出展者PR情報」を記入していただきます。作成いただいた内容は、公式ホームページで公開するとともに、マッチング・コーディネーターによる支援の参考資料とするほか、公式ガイドブックの掲載原稿として活用します。

(出展者PR情報は、9月下旬公開開始、10月上旬まで更新可能予定)

展示内容の工夫

開発された試作機のデモンストレーション、簡単な公開実験、開発された新しい農産物や加工食品の試食等は、来場者の注意を引くとともに、技術の優位性を示す詳細な説明を行うきっかけとしても有効です。技術を来場者いかにしてアピールするのかが検討いただき、創意工夫に富んだ展示となるよう、ご協力をお願いします。

フェアの3日間を有効に活用ください

アグリビジネス創出フェアは3日間、10:00～17:00の間開催します。フェアを有効に活用するため、原則として展示ブースへの担当者の常駐を必須とします。展示時間終了間際に来場される方もおられますので、最終日を含め展示時間内の片付けは行わないでください。研究内容に詳しい担当者が常駐することが難しい場合には、各担当の対応時間を明示し、担当者不在時の問い合わせに対するフォローアップ体制をご検討ください。

※3日間の展示・担当者の駐在が困難な場合には、「1-day出展」制度を活用ください。

マッチングレポートの提出

フェアを通じて得られた成果と、その効果を取りまとめるため「マッチングレポート」を提出いただいております。会期直後、2013年2月の2回を予定しておりますので、**必ず提出ください。**レポートを提出いただけない場合、次回以降の出展をお断りすることもあります。

フェア2011の出展者・出展内容はフェア2011のガイドブックをご参照ください。

→ http://agribiz-fair.jp/2011/data/guid_2011.pdf

その他、フェア2011の様子は農林水産技術会議のプレスリリースをご覧ください。

→ <http://www.s.affrc.go.jp/docs/press/111208.htm>

出展料と小間仕様

出展料は、小間数に関わらず無料ですが、以下の経費はご負担下さい。

出展者にご負担いただく経費

- 出展者自身の小間装飾、搬出入費等
- 会場設備・備品および他ブース展示物の破損、紛失弁償費
- 基本設備以外の電気工事費および電気使用料
- 放置された装飾資材等の残材、ゴミの処分に係る経費
- 臨時電話等通信回線の架設費および通信費
- その他諸経費
- 出展品および対人傷害等の保険
- 出展者名ボード

※詳細についてはお問い合わせください

昨年と小間の概要が一部変更しておりますので、ご注意ください。

3日間通して出展する 通常出展小間タイプ

希望する小間数をお申し込みください。
ただし、申込数により、小間数の調整をさせていただく場合がございます。

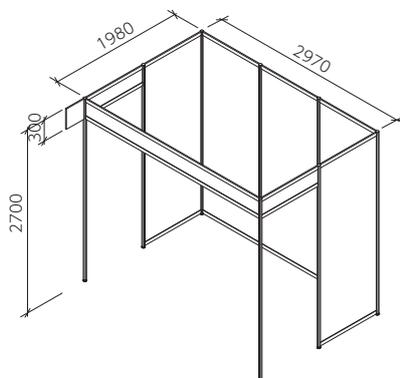
小間の概要

間口2,970mm×奥行1,980mm×高さ2,700mm

- 小間仕切りパネル
※袖壁前方1mは、サイドパネルは付きません。
※角小間の場合は、通路側のサイドパネルは付きません
- パラペット
- ゾーン表示看板
- 蛍光灯1灯(1小間につき)
- 2口コンセント1箇所(300W)
(小間数にかかわらず)

- 出展者名ボード(ゴシック文字)
※出展者名ボードは
実費負担として5,000円の
費用がかかります。

- ※床面は会場コンクリートとなります。
- ※備品については、後日ご案内する出展マニュアルにてお申込ください。



3日間の出展が困難な出展者のための 1-DAY出展小間タイプ

出展を希望する日をお申し込みください。申込み状況によっては出展日時のご希望に添えない場合もございます。この形態での出展は、1出展者1小間とさせていただきます。

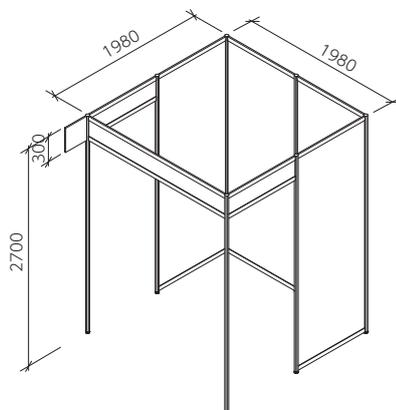
小間の概要

間口1,980mm×奥行1,980mm×高さ2,700mm

- 小間仕切りパネル
※袖壁前方1mは、サイドパネルは付きません。
※角小間の場合は、通路側のサイドパネルは付きません
- パラペット
- ゾーン表示看板
- 蛍光灯1灯(1小間につき)
- 2口コンセント1箇所(300W)
(小間数にかかわらず)

- 出展者名ボード(ゴシック文字)
※出展者名ボードは
実費負担として5,000円の
費用がかかります。

- ※床面は会場コンクリートとなります。
- ※備品については、後日ご案内する出展マニュアルにてお申込ください。



展示エリア及び出展ゾーン

会場内を、4つの出展ゾーンに区分し、関連する研究分野が隣接するようなブース配置を予定しております。出展内容等をふまえ、ゾーン区分の調整等をさせていただく場合がありますので、ご了承ください。



生産

栽培、植物工場、水産、畜産、新品種育成、ゲノムに関する技術シーズの展示



食

食の機能性、流通、食品加工、品質保持等に関する技術シーズの展示



環境

環境計測、環境創造、土壌診断、リサイクル、バイオマス利活用、低投入型生産、環境負荷軽減、自然エネルギー、省エネルギー等に関する技術シーズの展示



地域

地域資源の活用、6次産業化、農山漁村の課題解決、地域の科学技術振興等に関する技術シーズの展示



人

研究開発支援や技術移転等による研究者の支援、産学連携支援、人材育成等に関する展示(主に、「出展募集対象」の②に相当する機関を想定しています。)

震災復興・災害対策

震災復興・災害対策に関する展示がある場合には、マーク等で表記します。

研究・技術プレゼンテーションの実施

研究成果の実用化に向けた技術的な取り組みをプレゼンテーションする機会を設けます。プレゼンテーションする内容はそれぞれの出展内容に準じた内容とし、申込時に具体的な内容を記入ください。原則として、1出展機関あたりのプレゼンテーションの枠を1枠とします。参加希望の過多により、必ずしもご希望に添えない場合もございます。

出展の承認

出展申込書の内容を審査し、出展の可否を決定します。

(1-DAY出展の場合は、お申し込みいただいた順番も審査の際の参考にさせていただきます。)

通知は事務局より申込時に登録いただいたメールアドレスまで通知いたします。

展示小間数・展示エリア・出展ゾーン及びブース配置の決定

出展申込書及の内容を審査し、事務局にて決定・配置いたします。

通知は事務局より申込時に登録いただいたメールアドレスまで通知いたします。

展示小間位置の発表は9月下旬に公式ホームページ(<http://agribiz-fair.jp/>)に掲載します。

搬入・搬出(予定)

展示物等の会場への搬入・搬出期間

搬入・設営日：2012年11月14日(火) 12:00～17:00

搬出日：2012年11月16日(金) 17:00～20:00

※会期中は、主催者の許可無しに展示物を搬入・搬出・撤去・移動することはできません。

※1-DAY出展の搬入(ブースの準備も含む)は、出展日の8:00～9:30の間に行い、搬出は出展終了日の17:00～18:00の間に行ってください。

※展示品や小間内の保守および清掃は、出展者の責任で行ってください。

出展規定

■出展面積の転貸、譲渡、交換の禁止

出展者または出展申し込み者は、出展面積の一部あるいは全部を転貸、譲渡、交換することはできません。また、主催者の承認無しに、出展者以外の団体が使用・展示することはできません。

■出展物の知的財産保護

出展する研究成果・技術・製品について特許出願等の予定がある場合は、出展公表前に必ず特許出願等の手続きを行ってください。

研究成果・技術・製品の出展やWebへの掲載によって生ずる知的財産の侵害、それに伴うあらゆる損失または損害について、主催者は責任を負いません。

■開催の変更及び中止

主催者は、天災その他の不可抗力により会期を変更、または開催を中止する場合があります。

主催者は、これによって生じた損害を補償いたしません。

■催事の運営と免責

主催者は催事の業務を円滑に実行するため「アグリビジネス創出フェア2012出展規定」に記載のない事項について、新たに取り決め、各種の追加や変更を行うことがあります。

出展者が「出展規定」に違反した場合は、主催者はその出展者の出展を断る場合もあります。

主催者は準備から撤去まで全期間を通じ、警備会社と契約して会場管理にあたりますが、展示品の損害・紛失・盗難等に関する責任は負いません。

■補償および保険

出展者およびその代理人が他社の小間、主催者の運営設備、展示会場の設備および人身等に損害を与えた場合は、その補償は出展者の責任になります。出展者は、会場への展示物搬入開始から撤去終了までの期間、必要と思われるものについて損害・傷害保険に加入することをお勧めします。

■出展規定の承認

すべての出展者はアグリビジネス創出フェア2012出展規定を承認したものとします。

※その他詳細につきましては、別途「出展マニュアル」に定めます。(9月下旬公式ホームページに掲載)